



在日米軍従業員の紹介

Introduction of USFJ Employees



CASE11 溶接工

施設部維持課
渡邊 吾朗 さん



快適な職場をつくりまします。

米軍岩国基地施設部溶接工場は、鉄パイプや鉄板などの切断や溶接、鉄製のドアや戸車の組み立てや取り付け、ピットカバー・ブラケット・フレーム・支柱などの組み立てや修繕など、溶接に関連した仕事を行います。

私の仕事は現場での監督業務です。安全で安心な作業が行われる様に作業計画を立てています。また、オーダーを受け取り、図面、材料確認をして、現場での適切な人材配置を行っています。

工場では溶接作業がメインの仕事です。金属を接合した溶接は人が書く文字と同じで、各個人の個性が有り、誰が溶接したものかすぐ分かり、おもしろいと思います。

私が溶接工になった頃、職人の世界では、仕事は見て覚えろ、という風習でしたが、今は職人が若い溶接工に知識や技術を分かりやすく、親切に教えていて、若い人でも入りやすい職場になってきていると思います。

工場では毎朝作業前、5分程度のミーティングを行い、事故の無い安全な職場を目指しています。ずばり目標は、安全で快適な職場環境をつくることです。



CASE13 カウンター・アテンダント

AAFES横田支部
川杉 幸子 さん



横田基地で
ずっと働いていきたいです。

横田基地のダンキンドーナツ・バスキン・ロビンスでスーパーバイザーとして働いています。ドーナツ及びアイスクリームの販売をしています。

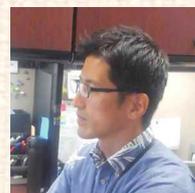
一つのドーナツ・一杯のコーヒーで笑顔になっていただけで私もおどろきです。また、何年かぶりに日本に再び赴任してきた方にあなたが働いて良かったと言われたときには、ここで長い間働いてきて良かったと思います。

9年間フードで働いてきたので、他の仕事もしてみたいという気持ちもあるし、ここでステップアップしていてもいいかなと思っています。いずれにしても、横田基地の中でずっと働いていきたいと考えています。



CASE12 社会関係(連絡)専門職

外交政務部(G7)
比嘉 尚仁 さん



責任とやりがいを感じます。

政務外交部の職務の一つに、日本政府職員及び地元自治体の方々を始めとする様々な方々による米軍施設への立入調整があります。調整の際には立入申請者側の意図を詳細に確認し、海兵隊として申請に対しどのような支援が可能かどうか、関係部署から得た専門知見を基に、政治的、法的側面から内容を吟味します。

沖縄防衛局との会議が多く、その際G-7部長である上司に対し通訳支援を行います。会議の前には議題の内容を確認し、部長の発言が相手側に正確に伝わるよう慎重に対応します。G-7は、第3海兵遠征軍司令官及び海兵隊太平洋基地司令官を支援する役割もあり、国会議員又は、政府高官との折衝の際に支援要員を提供します。折衝内容も多岐に渡り、常にニュース、新聞、情報誌などにアンテナを張り、情報収集に努めます。政治的に機微な内容が多い為、常に緊張が途切れることはありませんが、それ以上にやりがいを感じており、この仕事に就いて良かったと思っています。



CASE14 歯科衛生職

海軍第3歯科大隊
上運天 縁 さん



前職の経験を活かしています。

患者さん(主に兵隊)は、年に1度の歯科検診を義務付けられており、ドクターの指示に従い、1日に7~8人程度、歯のクリーニングを行います。

基地内で勤務する前は、民間で同じ歯科衛生士として働き、結婚、出産を経て仕事復帰の際、基地内で歯科衛生士を募集しており、タイミング良く採用が決まり働き始めました。

歯科衛生士としてのやりがいは、状態の良くなかった患者さんが、時間と回数をかけてクリーニングしていく中で、改善が見られ、最後には「ありがとう」と笑顔で感謝してもらえることです。

基地内従業員を目指される皆様、アメリカ文化に興味があり、多様な考え方を学びたい方は、是非、挑戦されてみてください。きっと働く中で、自分の持つ強さを学ぶことができますよ。

